それを言うなら「うちの物を作り」
孫　切り干しって、戻すと
大根になるんだねえ
いなぐま・はる（4歳）＝
安城市、祖母・稲熊千代子

かにし・かほ（10歳）＝
母・中西舞
〈大発見〉
祖母が切り干し大根で酢

「可能性感じる」「大切さ共有を」

中日農業賞　優秀 都築さん　特別 鋤柄さん

㊧中日農業賞で優秀賞を受賞した都築興治さん㊨　㊧中日農業賞で特別賞を受賞した鋤柄雄一さん㊨＝いずれも名古屋・栄の中日パレスで

十六日に贈呈式があった中日農業賞（中日新聞社主催）で、県内では水稲、露地・施設野菜栽培の阿久比町草木、都築興治さん(三)が優秀賞、豊田市堤本町で養豚場を営む鋤柄雄一さん(四)が特別賞を受賞。それぞれ喜びの声を語った。（辻晃平、土屋晴康）

都築さん

贈呈式後の祝賀会で「先代から受け継いだものや、地域の方々の協力があって受賞できた」と晴れやかに語った。

一緒に出席した妻の佳世さん(三)は「夫はいつも究極のポジティブ思考で仕事が大好き。頑張ってきたことが形になってよかった」と笑顔で話した。

都築さんは二〇一一年に米農家だった父から有限会社「千姓」を受け継いで就農。現在は約百㌶を耕す。農業を活性化させるために研修生を受け入れ、独立支援に力を入れた。米やキャベツ、ブロッコリーなど生産物を「つづき農場」としてブランド化。経営面積拡大や売り上げの向上につなげている。

今後については「農業は発展が遅れている分、可能性を感じる。働く環境を良くして、人が集まる産業にしていきたい」と意気込んだ。

鋤柄さん

大学卒業後、薬品会社勤務、米国留学を経て二十六歳で家業に就き、二〇一〇年には自社ブランド「三州豚」を立ち上げた。小麦由来の食品残さを飼料に活用し、動物性のタンパク質を与えずに育てた豚肉は臭みがなく、脂に甘みがあるという。

若手農家のリーダーとしても活躍する。同年に立ち上げたグループ「夢農人（ノート）とよた」では、定期的に軽トラ市やマルシェを企画。

「産業都市の豊田では農業は特殊な存在。農業の魅力をより多くの人に知ってもらいたかった」。異業種交流も進め、農家代表としてまちづくりにも関わる。

一五年には夢農人の常設店を市内に開設。昨年四月には刈谷高時代の同級生と肉牛を扱う会社「トヨタ牛ファーム」をつくった。

「人間はみんな他の生き物の命をいただいて生きている。きつい、汚い仕事と言われることもあるが、農業の大切さが、社会の中で共有されてほしい」と願った。

花粉情報

17日（日本気象協会中部支社調べ）

	きょう	地域	飛散量
愛知	😷	尾張部	非常に多い
		西三河	非常に多い
		東三河	非常に多い
		三河山間	非常に多い
岐阜	😷	岐阜	非常に多い
		西濃	非常に多い
		中濃	非常に多い
		東濃	非常に多い
		飛騨	非常に多い
三重	😷	北部	非常に多い
		中部	非常に多い
		南部	非常に多い

😊 少ない　😐 やや多い　😷 多い　😷 非常に多い

【きょうの概況】全般によく晴れる。空気が乾燥して、スギ花粉の飛散は、各地で非常に多い見込み。愛知県は、微量ながらヒノキ花粉も飛散開始に。

知事の一日

16日▽午前9時20分　各部局との打ち合わせ▽10時40分　来客応対▽11時15分　豊田

叙位叙勲（16日）

従六位瑞宝双光章　元瀬戸市立光陵中校長柴田和平氏(87)＝瀬戸市水無瀬町37（2月15日死去）▽正六位　元額田町立大雨河小校長志賀和美氏(95)＝岡崎市下青野町西新居58（2月17日死去）▽正六位　元名古屋市立名北小校長前田定利氏(88)＝名古屋市緑区滝ノ水3の1801の5（2月17日死去）